

# CAL研究会 in高崎市

## 赤尾商事で開催

# 関東版

東京本社  
〒104-0033  
東京都中央区新川2-6-8  
TEL 03(3551)9201 FAX 03(3551)9206

HELLOの購読の申し込みはフリーダイヤル 0120-66-9201

## 未来を見据えトータル・カーライフ・サービス

トータル・カーライフ・サービスの推進を目的として活動するSSの研究会であるCAL研究会(本部=株式会社LCL、所在地=神奈川県伊勢原市、永友正興社長)は4月19日、20日の両日に赤尾商事(群馬県高崎市、出光興産系)で「CAL研究会in高崎市」を開催し、約40人の会員が参加した。

### スタートして約20年

冒頭、智頭石油(鳥取県八頭郡、出光興産系)の米井哲郎社長があいさつに立ち「CAL研究会がスタートして約20年近くになりますが、皆さまのおかげで継続して運営ができています」と謝辞を述べた。

カリキュラムに入り、赤尾商事の赤尾佳子社長が「赤尾商事株式会社のこれまでの活動」と題した講演を行った。

「油の町医者たれ」を経営理念に群馬県と埼玉県に18SS(自社所有10SS、運営委託8SS)を運営している。

赤尾社長はこれまでの考え方である積み上げ式の計画ではなく、望ましい未来の姿から逆算するバックキャストが時代に合っていると、社員に望ましい未来の予想を描くことで新規事業が立ち上がっているとした。

また、同社は2022年から2024年の中期方針である「目指すは脱炭素における地域のリーディングカンパニー」を目指すとしている。

なお、今年から社員の意欲向上を図る「社内ベンチャー制度」を新設すると発表された。同制度により、今年4月に県内をチャーターしたバスでセルフ三枚橋SSに移動し、セールスルームを地元の無料ギャラリーとして貸し出していることや、同SSが配信しているYouTubeについて10万回再生されている内容を酒巻伸広マネージャーと新井葵3級整備士が解説した。

また、CAL研究会のサービス「新車あげます7」の営業方法を説明した。



会員に赤尾商事を紹介する米井社長

車検センターに移動し、保険レンタカー事業のほけレンや整備の受け入れ状況を伝えた。

さらに、福祉車両の販売・整備や福祉車両のレンタカーについても現状を報告した。

最後には燃料潤滑油デリバリー基地のエナジーターミナル高崎に立ち寄った。

担当の萩原貴也執行役員は2020年にスタートした出張オイル交換事業が軌道に乗っており、今年の物流問題の人手不足対策になることから、現在の1人態勢から増員を予定していると今後の展望を語った。

また、パトロール給油のローリーにイラストを描き、同社のブランド価値を高めていると企業努力について触れた。

翌日の4月20日に赤尾商事に戻り、山下石油(京都府南丹市)の山下真司社長が新車を月々定額で支払う「新車定額プラン」、新車が半額で乗れる「新車半額プラン」、「低金利プラン」を用意した「車楽」のサービス内容を説明した。

### 三方よしを基本理念に

筑豊太平石油(福岡県飯塚市、ENEOS系)の高山幸嗣社長は「顧客満足・従業

員満足の追求と地域共生を目指して！」の三方よしを基本理念としていると述べた。

また「自動車保険と地場SSレンタカー事業」の「ほけレン」に本格的に取り組んでおり、保険レンタカーの収益が高まっていると伝えた。



発表者(右から赤尾社長、山下社長、高山社長)①10万回再生されたYouTube動画の内容を再現する酒巻マネージャー(右)と新井さん



赤尾商事の「エナジーターミナル高崎」を見学する会員ら(萩原執行役員は「ローリーにもブランド化の一環としてイラストを描いている」と説明)

